

## ◎「第2回土佐清水市史編集委員会」の開催！・・・



先週21日(金)14時より、中央公民館2階会議室にて「第2回土佐清水市史編集委員会」が開催された。

この会議は、令和5年度末に刊行予定である『新土佐清水市史』(1220頁の予定)について、令和4年度事業の中間報告のための会議である。

年度初め、ゴールデンウィーク明けの5月20日(金)に「第1回市史編さん・編集合同委員会」を開催して以来、5か月ぶりの会議であった。

この間、ゲラ刷りの作成も進み、「通史編」の進捗も大きく進んだ。

21日(金)の「編集委員会」では、岡崎教育長あいさつ、編さん事業中間報告、高知県立足摺海洋館 SATOUMI・新野大館長の講話、校正原稿の確認などが行われた。

特に、新野館長の講話では、高名な海洋生物の研究

者にもかかわらず、飾らぬお人柄で分かりやすくご自身の歩んできた道を熱く語っていただいた。水族館のイルカ飼育員からスタートし、図鑑をつくったり、水族館自体をプロデュースしたり、常に魚とともに生きてきた新野館長の生き方は、聴く者の心を捉えて放さない、その世界に巻き込まれていくような講話内容であった。

館長には、「第15章 生物」の章において、「海洋生物」の節の執筆を担当していただいている。今からその節を読むのが楽しみである。

## ◎4～11月までの市史普及啓発活動・調査活動等

※赤字＝調査活動 青字＝普及啓発活動(出前授業) 黒字＝普及啓発活動(講話・ガイド) 緑色＝会議

- 4/6～7 戦争遺跡調査(1) 足摺岬地区・第132 震洋格納壕 (出原恵三、大原純一)  
5/13 足摺岬小(3～6年生)総合学習「校区の歴史」市史編さん室が授業  
5/20 第1回市史編さん・編集合同委員会(編さん員・編集委員)中央公民館  
6/ 2 幡多地区文化協会総会(研修会)「バラ抜き節の歴史」講話(市史編さん室田村)  
7/ 3 愛媛県東温市民大学「中浜万次郎」講話(市史編さん室田村)  
7/ 9 土佐ジョン万会総会・基調講演(市史編さん室・田村)  
7/27 自然災害碑銘文調査(1) 市域自然災害碑巡見 (濱田眞尚・唐岩淳子)  
8/ 3 土佐清水市教研・社会部会研修会「松尾地区巡見」講師(市史編さん室)教員対象  
8/29 学校資料調査協議会(目良裕昭・楠瀬慶太・高木翔太)高知市鷹匠庁舎研修室  
9/ 4 土佐史談会歴史散歩「足摺岬～松尾地区巡見」講師(市史編さん室田村)  
9/ 4 学校資料調査(中浜小歴史収蔵スペースでの整理)目良裕昭・楠瀬慶太・高木翔太  
9/ 5 四国地区更正保護女性の会研修会「中浜万次郎」講話(市史編さん室田村)  
9/ 5 学校資料調査(中浜小歴史収蔵スペースでの整理)目良裕昭・高木翔太  
9/10 土佐清水市立市民図書館歴史講座「中浜万次郎」講話(市史編さん室田村)  
9/23～26 中世一石五輪塔等の石造物調査(海邊博史・三好義三・森山由香里)  
9/27～28 自然災害碑銘文調査(2)(濱田眞尚・唐岩淳子)  
10/ 7 清水小(4年1組)「総合学習・防災 市域の自然災害碑」市史編さん室が授業  
10/18～19 市域中世山城ドローン写真撮影 12/20 城跡(松田直則・吉成承三)  
10/21 第2回市史編集委員会(市史編集委員)中央公民館  
10/21～22 戦争遺跡調査(2) 布地区ほか (出原恵三)  
自然災害碑銘文調査(3)(濱田眞尚・唐岩淳子)

＝今後の予定＝

- 11/17 第70回全国博物館大会第2分科会「休校を利用した文化財の保護」講師(市史編さん室田村)  
11/25～28 中世一石五輪塔等の石造物調査(海邊博史・三好義三・森山由香里・)  
11/27 NPO 法人スポーツハブ事業「スクラム親子白皇山巡見」講師 (市史編さん室田村)  
12 初旬 市域中世山城ドローン写真撮影 12/20 城跡(松田直則・吉成承三)・・・1泊2日  
戦争遺跡調査(3)出原恵三・大原純一・・・2泊3日  
学校資料調査(中浜小歴史収蔵スペースほか)目良裕昭・楠瀬慶太・高木翔太ほか  
・・・1泊2日

【編集後記】さあ、令和4年度もいよいよ下半期となります。編さん事業も佳境を迎えようとしています。編集委員・調査協力員の皆さん、あと一歩です。最後まで気を抜かず、油断せず、今なすべきことにベストを尽くしていきましょう。

最近、つくづく歴史研究で感じるがあります。それは机上での学問ではダメだということです。歴史研究は、机上の文献史学だけではありません。まず、歴史の舞台である大地、フィールドをよく観察しなければならないということです。その上で文献史学の知見が重なり、いろいろなことが読めてくると思うのです。地理学・考古学・民俗伝承・絵図等々様々な周辺学問と連携しながら、史実を探究していく学際的研究こそが今、求められています。現在、「土佐清水市史編さん事業」で取り組んでいる研究は、まさに「学際的研究」であり、調査結果はその結晶です。発刊まであと僅か、ますます研究をやり抜き、これを深めていきましょう！ (田村)